

# 江戸川発

# かわばた通信

## No. 10

発行 スーパー堤防問題を考える会

連絡先

東京都江戸川区中央1-21-3-513

飯田康男 090-9979-9994

稲宮須美 090-6479-9541

スーパー堤防と一体の  
篠崎公園地区  
高台まちづくり



8月20日

堤防の中腹を走る篠崎街道は、300mの  
トンネル（ボックスカルバート）にする計画

工事開始3年目の事業説明会

# 住民から苦情続出

篠崎公園地区  
高台まちづくり

国土交通省、東京都、江戸川区の3者は、「篠崎公園地区高台まちづくり」について、8月9日と10日の2日にわたり、篠崎第二小学校体育館で今年度の事業説明会を行いました。

「篠崎公園地区高台まちづくり」は、一昨年から工事が本格的に始まり、堤防に近いあたりではおよそ3000本の樹木が撤去され、すっかり景色が変わってしまいました。

事業全体の完成は令和14年と説明されていますが、3年延びて完成は令和17年、あと10年先になるとのことです。

参加者は2日合わせて40人ほどでした。工事が行われていることに対して、迷惑、不安、不便など苦情が続出しました。

	事業名	事業者
5事業を共同実施	1 高規格堤防整備事業（スーパー堤防事業）	国土交通省
	2 篠崎公園事業	東京都
	3 土地区画整理事業	江戸川区
	4 街路事業	
	5 緑地事業	

説明会では、これまでに進めてきた工事内容と、今後行う工事について説明がされたあと、参加者との質疑応答に移りました。その一部を紹介します。

参加者（公園北側の住民）：  
工事内容によつてうるさい。家が揺れる時がある。何かあった時にどこに連絡したらいいか、一か所だけ教えてほしい。

国交省：工事の機関が違うので代表は設定できない。今日の資料を見て、工事が分ればそこに電話を。分らなければ、国交省関東地方整備局沿線整備課に連絡をしていただければ。

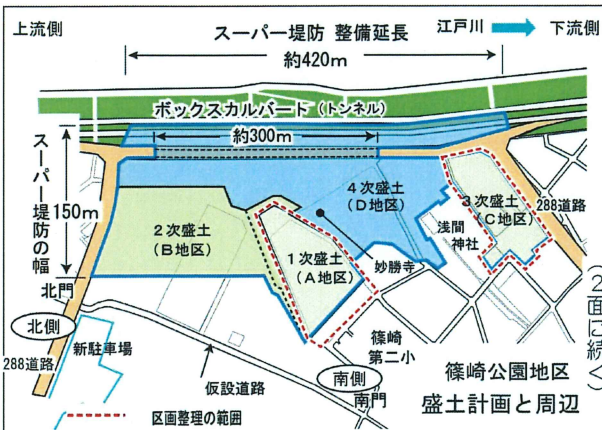
（写真）公園内の樹木など既存施設の撤去が進み、1次盛土地区（右上の奥）では盛土を行う前の地盤改良工事が行われています。

参加者（公園北側の住民）：  
スーパー堤防の高台まちづくりは避難場所という理解でいいのかが。

江戸川区：高台ということでは緊急的な避難場所として大規模水害時に浸水しないという形で事業を進めている。

参加者（公園北側の住民）：一時避難場所といつことだが、どのくらいの人を避難できるかと考えているのか。

江戸川区：区は大規模水害が予想される時は、広域避難を推奨している。その上で、逃げ遅れてしまったら逃げることでないかという方のために、緊急的な高台（避難場所）をここに何人逃げるとか

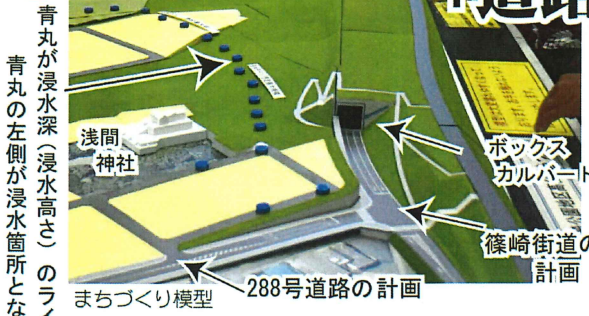


（2面に続く）  
いう想定ではない。  
参加者（妙勝寺）：これまで近くにあった公園の駐車場とトイレが無くなった。妙勝寺が現在近くに江戸川区から借りている駐車場に勝手に駐車されている。

# 篠崎街道

## 300mのトンネルより

### 「道路は上」が安全でコストも安い



補助288号線のボックスカルバートをやめて道路面を堤防高に揃えることを求める陳情

**区議会建設委員会**で審議

「篠崎公園地区高台まちづくり」における288号道路(街路事業)計画は、現在、堤防中腹を走っている篠崎街道と288号道路を接続し、篠崎街道は約300mの「ボックスカルバート(トンネル)」としています。長いトンネルにする

区議会建設委員会に土木部が提出した資料より

篠崎公園地区のボックスカルバート(延長約300m)					
概算建設費用 約14.5億円 照明設備概算電気料金 726千円/年					
	設計		施行(施行協定)		維持管理費(基本協定)
	基本	詳細	施行者区分	費用負担区分	
国	○	-	○	1/2	-
区	-	○	-	1/2	○

てしまいません。篠崎街道は「ボックスカルバート」より、堤防の上を通す道路にした方が、水没のリスクもなくなり、安全で経済的にも有利ではないでしょうか。

住民から、篠崎街道の「ボックスカルバート」を見直すように、区議会に陳情が出され、現在、建設委員会

## 最大想定規模の洪水発生で



事業説明会・1面からの続き)

(妙勝寺の続き)敷地内にも勝手に駐車される。また、公園のトイレの場所がわからないからトイレを使わせてくれと言ってくる人がいる。

新しい駐車場、トイレのわかりやすい案内看板を早急に造って欲しい。

江戸川区は、事業説明会会場に、まちづくり模型に「浸水深」を表示した模型と浸水した時を想定した写真を展示しました。

「浸水深(しんすいしん)」とは、洪水が起きると最大この高さまで水に浸かるという

は次のように説明します。

最大想定規模とは：想定することのできる、最大規模のものという意味になる。計画規模とは：河川整備計画を作成するとき、対象となる地域の洪水に対する安全の度合い(確率)を表す。国土省の利根川水系河川整備基本方針では、江戸川は計画規模を200年に一度としている。

参加者(公園北側の住民)：クルマで公園の北側から来る人は、新しい駐車場にたどり着きやすいが、その他からだと、一方通行が多くてわかりにくい。わかりやすい案内を作って。

東京都：トイレ、駐車場、わかるような案内を工夫したい。

参加者(公園南側1次盛土近くの住民)：工事で家が揺れた。家がゆがんで障子の開け閉めもできない。補償とかはどう考えているのか。今後1次盛土ができる

参加者(公園北側の住民)：自分たちの家は坂の下

参加者(公園北側の住民)：浅間神社のバス停に行くのに前は公園内を通って行けた。工事になって今はとても遠回りになってしまった。高齢者にはとてもきつい。我慢しないといふこと

が調査をしている。補償は相談する。水については、しっかりと排水になるように設計をする。

参加者(公園北側の住民)：公園内にあつた道路が無くなり、代わりに仮設道路ができた。仮設道路でタクシーで篠崎駅へ行ける。事業が完成しても、遠回りにならないで篠崎駅に行けるように、残すように検討してほしい。ここで決めていくことではない。

江戸川区：わかりました。

参加者(公園北側の住民)：高規格堤防を点で造っても意味がないのではというところだが、堤防としてはそつかも知れないですけど、その堤防の場所は強化される。連続してないと切れてしまうじゃないかという声もあるかと思う。この場所、今回は420mの範囲で、少しでも高台が造れるというメリットがある。

**鬼怒川水害裁判 控訴審**

**9月9日(月)** 午前10:30~12:00

傍聴と報告集会へのご参加を 東京高等裁判所 101号法廷

★報告集会は 衆議院第2議員会館 地下1階第2会議室